

# Web 認証プロキシの設定例

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[WLC の設定](#)

[PAC ファイルの設定](#)

[事前認証 ACL の作成](#)

[クイック変更： Web ブラウザの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、プロキシ設定を使用するように Web 認証を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- ワイヤレス LAN コントローラの基本設定
- Web 認証のセキュリティ

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、シスコ ワイヤレス LAN コントローラ バージョン 7.0 以降に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 設定

プロキシ サーバのあるネットワークのネットワーク管理者は、まずにプロキシ サーバに Web トラフィックを送信し、プロキシ サーバがインターネットにトラフィックをリレーします。クライアントとプロキシ サーバ間の接続では、通信にポート 80 以外の TCP ポートを使用できます。

このポートは通常は TCP ポート 3128 または 8080 です。デフォルトで、Web 認証はポート 80 だけをリッスンします。そのため、コンピュータから送信される HTTP GET は、プロキシポートに向かいますが、コントローラによってドロップされます。

このセクションでは、プロキシ設定を使用するように Web 認証を設定する方法について説明します。

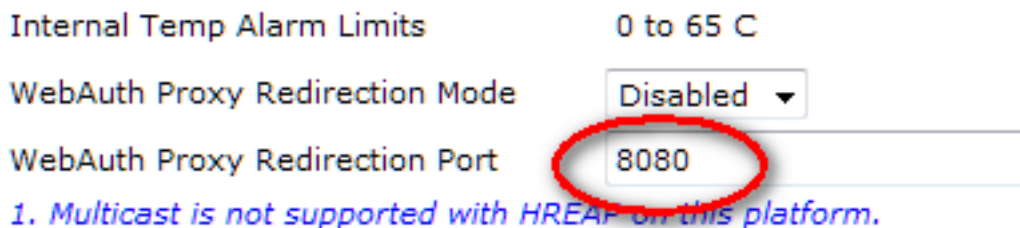
1. プロキシポートをリッスンするために Cisco Wireless LAN Controller ( WLC ) を設定します。
  2. 仮想 IP アドレスを直接返すように Proxy Auto-Configuration ( PAC ) ファイルを設定します。
  3. Web 認証の前にクライアントで PAC ファイルをダウンロードできるようにするために、事前認証のアクセスコントロールリスト ( ACL ) を作成します。
- 速い修正として、192.0.2.1 を戻すために Webブラウザを手動で設定することができます。

これらのプロセスそれぞれの詳細は、次のサブセクションにあります。

## WLC の設定

この手順では、コントローラがリッスンするポートをプロキシサーバがリッスンするポートに変更する方法について説明します。

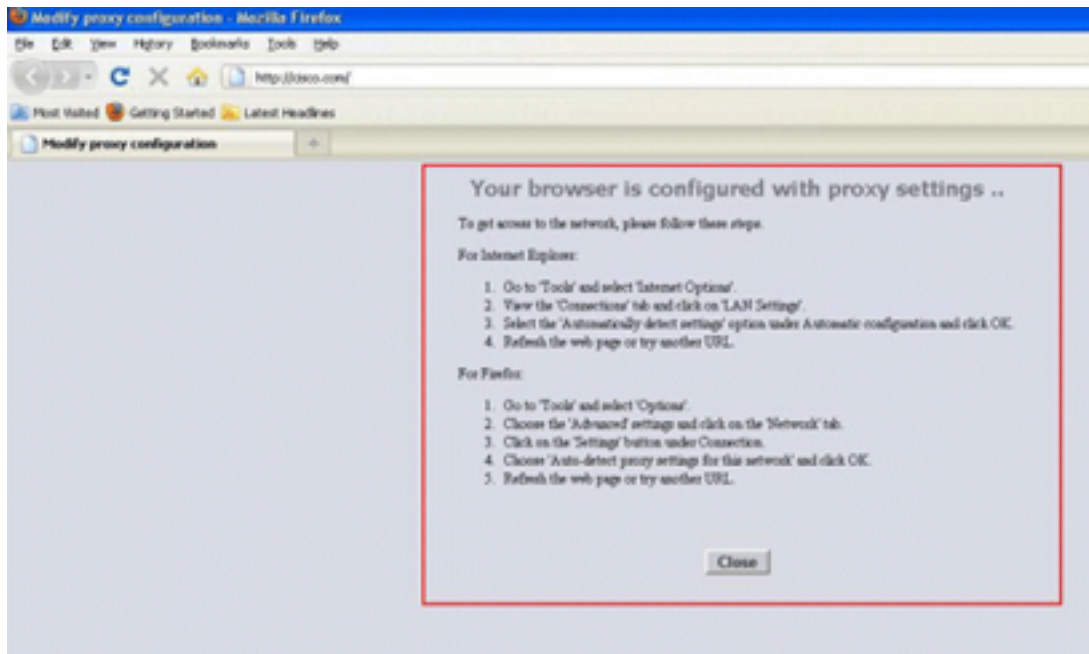
1. [Controller] > [General] のページに移動します。



2. [WebAuth Proxy Redirection Port] フィールドで、クライアントのリダイレクトのために WLC でリッスンするポートを入力します。
3. WebAuth プロキシ リダイレクション モード ドロップダウン リストからまたは有効にされる『Disabled』を選択して下さい:

『Disabled』を選択する場合、クライアントはパススルーまたは認証のための正常な Web 認証ページを示されます。このようにプロキシを使用すれば、192.0.2.1 すべてのクライアント ブラウザを設定する必要があります (または他のバーチャル IP アドレスのためにプロキシを WLC 使用) 使用しないために。 [設定 Webブラウザ](#)を参照して下さい。

『Enabled』を選択する場合、WLC はポート 80、8080、および 3128 でデフォルトで受信します、従って WebAuth プロキシ リダイレクション ポート テキスト フィールドでそれらのポートを入力する必要がありません。クライアントがこれらのポートで HTTP GET を送信する場合、プロキシ設定を自動に変更するように求める画面が表示されます。



4. 設定を保存します。

5. コントローラをリブートします。

つまり、WLC がリッスンするポートを定義するためには [WebAuth Proxy Redirection Port] にポート番号を入力します。リダイレクションモードが有効になっている場合は、プロキシ設定画面にクライアントがリダイレクトされ、自動プロキシ設定のために Web Proxy Auto-Discovery ( WPAD ) または PAC ファイルが動的にプッシュされることを予期します。無効の場合、クライアントは通常の Web 認証ページにリダイレクトされます。

## PAC ファイルを設定する

Web 認証でユーザを正しく認証するには、WLC の仮想 IP アドレスが「直接」返される必要があります。「直接」とは、プロキシサーバが要求のプロキシ処理を行わず、クライアントがこの IP アドレスに直接到達するアクセス許可を持つことを意味します。これは通常、プロキシサーバの管理者によってプロキシサーバの WPAD または PAC ファイルに設定されます。次に PAC ファイルの設定例を示します。

```
function FindProxyForURL(url, host) {
    // our local URLs from the domains below example.com don't need a proxy:
    if (shExpMatch(host, "*.example.com"))
    if (shExpMatch(host, "192.0.2.1"))    <-- (Line states return 1.1.1 directly)
    {
        return "DIRECT";
    }
}
```

```
function FindProxyForURL(url, host) {
    // our local URLs from the domains below example.com don't need a proxy:
    if (shExpMatch(host, "*.example.com"))
    if (shExpMatch(host, "192.0.2.1"))    <-- (Line states return 1.1.1 directly)
    {
        return "DIRECT";
    }
}
```

## 事前認証 ACL を作成する

ワイヤレスクライアントが Web 認証にログインする前に、クライアントで PAC ファイルをダウンロードできるように Web 認証サービスセット識別子 ( SSID ) に事前認証 ACL を配置します

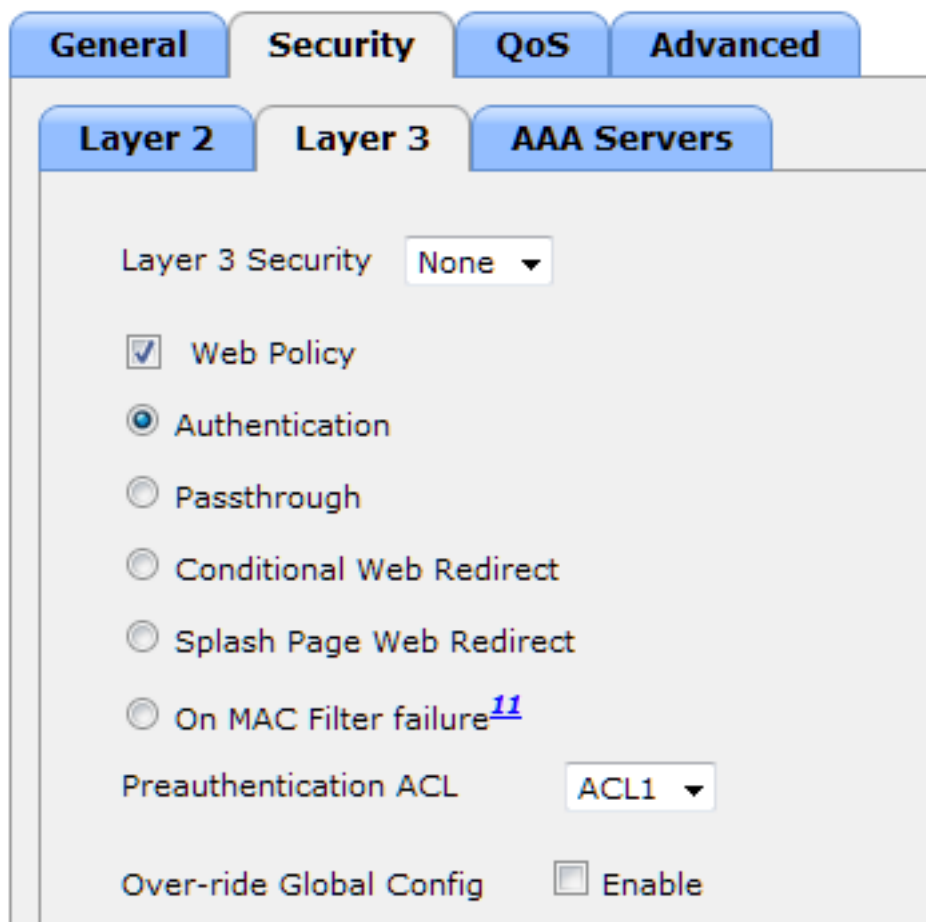
。事前認証 ACL は PAC ファイルにあるポートにのみアクセスを許可する必要があります。プロキシポートへのアクセスは、クライアントが Web 認証なしでインターネットに到達できるようにします。

1. コントローラに ACL を作成するには、[Security] > [Access Control List] に移動します。
2. PAC ダウンロードポートでプロキシへの両方向のトラフィックを許可するルールを作成します。

General										
Access List Name		ACL1								
Deny Counters		0								
Seq	Action	Source IP/Mask	Destination IP/Mask	Protocol	Source Port	Dest Port	DSCP	Direction	Number of Hits	
1	Permit	0.0.0.0 /	192.168.0.4 /	TCP	Any	8081	Any	Any	0	<input checked="" type="checkbox"/>
		0.0.0.0 /	255.255.255.255 /							
2	Permit	192.168.0.4 /	0.0.0.0 /	TCP	8081	Any	Any	Any	0	<input checked="" type="checkbox"/>
		255.255.255.255 /	0.0.0.0 /							

注: プロキシ HTTP ポートは許可しません。

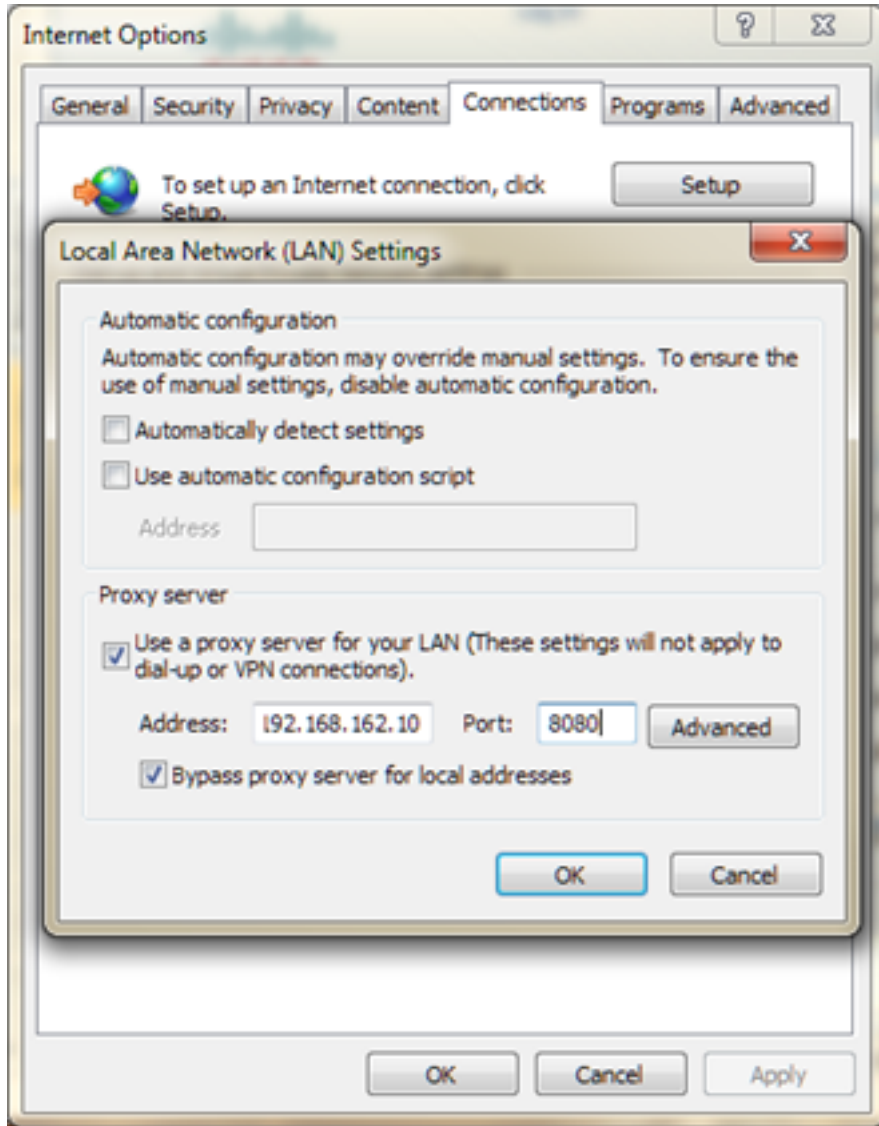
3. コントローラの WLAN 設定では、事前認証 ACL としてちょうど作成した ACL を選択することを忘れないで下さい。



## 手っ取り早い解決策：Web ブラウザを設定する

このプロシージャはクライアント Web ブラウザが 192.0.2.1 に直接手を差し伸べるように例外を手動で設定する方法を記述します。

1. Internet Explorer で、[Tools] > [Internet Options] の順に選択します。
2. [Connections] タブをクリックしてから [LAN Settings] ボタンをクリックします。
3. プロキシ・サーバエリアでは、**使用をプロキシ・サーバ LAN** チェックボックスがあるように確認し、( IP ) アドレスを入力すればポートはサーバ受信します。



4. 例外エリアで WLC のバーチャル IP アドレスを『Advanced』 をクリックし、入力して下さい。

**Servers**

Type	Proxy address to use	Port
HTTP:	192.168.162.10	
Secure:		
FTP:		
Socks:		

Use the same proxy server for all protocols

**Exceptions**

Do not use proxy server for addresses beginning with:

192.0.2.1

Use semicolons ( ; ) to separate entries.

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。